

社会福祉法人 浄山会

令和6年7月25日発行

発行人 稲岡正純

編集人 広報委員会

月華

第76号



七夕～お孫さんと一緒に

社会福祉法人 浄山会 介護老人福祉施設 つきかけ苑

京都市上京区寺町通清和院口上ル二丁目北ノ辺町395 - 20

【TEL】 075 (223) 1165 【FAX】 075 (223) 1166 【URL】 <http://jozankai.jp/>



初夏のひと時



ありがとうございました

令和二年以降、コロナ禍による感染対策の強化を受け、医療・介護業界はそれまでの日常とはかけ離れた毎日を過ごすことを強いられてきました。面会制限をはじめとする各種感染対策・対応にて、コロナ禍以降にご入居の家族の皆様と我々つきかけ苑職員との間に距離ができてしまつた感は否めません。マスク着用の姿でしかお話しできず、やるせなさや申し訳無さも合わせ、率直にそう感じております。

そんな中でも確実に時間は流れております。入居者様のお見送りをし、新しい方を受け入れるということに変わりはありません。先日もおひとりの女性をお看取りさせていただきました。

看取り介護開始より二週間弱でのご逝去、職員もゆっくりと自然に最期まで過ごされ良かったと感じていました。そんな折、ご家族がお部屋の片づけに来苑された際、息子様よりお礼の言葉とともに手紙をいただきました。そこにはお母さまが認知症を患われてからの自身の心境の変化や、一人息子としての母への思いや葛藤、看取り介護時に共に過ごした時間の事やその時間を与えてもらえたことへの感謝、職員の一言や対応がどれほどありがたかったか、等が丁寧に記されていました。目に涙を溜めながら手紙を読んだ職員も多いかと思います。私自身、コロナによって失つてしまつたものを少し取り戻せた気持ちになり嬉しく思いました。

世間の認識ではコロナ禍は終息を迎えておりますが、コロナウイルスによる感染症が無くなつたわけではありません。ただ、弱毒化に対する各種規制・制限は緩和される方向を向いており、当苑もその流れに準じていこうと考えております。些細なことでも職員にお声かけください。反対に職員よりお聞きすることも多くなるかと思われます。家族様とのコミュニケーションの大切さや仕事に対するモチベーションの在り方、これらを再確認する素晴らしい機会となり、こちらこそ感謝させていただきたく思いました。この四年間で失つてしまつた・失われてしまつたことを取り戻すべく尽力していきますので、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

令和5年度 社会福祉法人浄山会 事業報告

感染症分類が変更されてから1年が経ち、世間にはコロナ禍が終焉を迎えた空気感があるが、当苑においてはコロナ禍以来はじめてクラスター感染を経験するなど、多くの対応に追われる年となった。苑内で感染となられた大半の方が軽症で軽快されたなか1名の方がコロナ感染判明当日に急変されお亡くなりになられたことから、5類感染症となった今もなお、高齢者や基礎疾患をお持ちの方にとっては依然として重症化リスクが高く感染力の強い感染症であることを再認識し、今後も特に流行期においては警戒を解くことなく感染症対策に努めたい。

入居者の尊厳を尊重したケアプランの作成

要因解析、事前調査内容、生活の継続性及び生活の質を尊重した入居者およびご家族の意思に基づき作成を行うことができた。

医療的ケアの実施

主に食事・移動に関する個々の疾患に付随する注意点も含め、介護職員に対する医療的知識の提供を積極的に行うことができた。また、職種間の円滑な連携を心掛けることで、重篤な事故等なく、安全で苦痛の少ない医療行為を提供することができた。

感染予防医療と衛生管理の充実

各種感染症（特に新型コロナウイルス）の感染予防については、毎日の施設内消毒、職員の手洗い、うがい、手指消毒、マスク・ゴーグル（フェイスシールド）の着用、検温実施をし、日常生活における衛生管理の徹底と発生予防に努めた。また、感染症の流行状況や関連情報等について、関係委員会において情報収集し、マニュアルの見直しや施設内研修を実施して全職員の理解を深め、施設の感染予防対策に活用することができた。

施設内感染が認められた場合においては、感染拡大を最小限に抑えるため、行政指導、感染予防指針・マニュアルに沿った対応を行うことができた。なお、施設内感染への対応を通して、標準予防策の重要性等の意識向上、個人防護具の着脱・ゾーニングの手法の定着に繋がった。

令和5年度の当苑における感染症の発生状況

【新型コロナウイルス感染】	入居者：29名	職員：23名	【インフルエンザウイルス感染】	入居者： 0名	職員： 4名
【食中毒（ノロウイルス等）】	入居者： 0名	職員： 0名	【疥 瘡】	入居者： 3名	職員： 0名

新型コロナウイルス感染症の予防対策を踏まえた面会の実施

(1)居室面会（制限付き）(2)ベランダ面会(3)オンライン面会（LINEアプリ使用）

看取り介護の充実

ご逝去による退居が6名と例年より少ない中で、令和5年度は2名の方に看取り介護を提供することができた。その2名の方に対しての看取り介護での気づき・反省・成果を今後に生かせるような心掛けをもって指導・教育を行った。家族への支援と配慮では、面会の機会等にその時々のご状態をリアルタイムに報告することに努め、いずれの看取り介護も大きな認識の相違なく進められた一方、統一的な支援の点では、日々変化が起る中で職員間の連携不足から家族の混乱を招くこともあり、連携強化につながる新たな試みの構築も検討していく必要がある。また、看取りの同意書を受けて初めて看取り介護を意識するのではなく、ご入居された段階から、いずれ迎えられる終末期に向けての関わりを意識し、日々の支援の延長に看取り介護があるといった認識を共通で持つ必要性を感じた。

個人に適した食事の提供

日々の食事の様子を観察し、適正な食事形態の見直しと食事内容について他部署を含め検討し改善することができた。看取り介護においては、入居者の状態に応じて無理のない食事提供・介助を心がけ、他部署との連携も行った。

地域社会とのつながり

1 ボランティアの受け入れ

今年度も一年を通して屋内でのボランティア活動の受け入れを中止せざるを得なかったが、ボランティア団体・個人よりビデオレター・手紙・花をいただいた。屋外での園芸などの活動は継続して行っていただくことができた。

2 実習生の受け入れについて

今年度も新型コロナウイルス感染対策により、管理栄養士・栄養士実習や介護等体験等、すべての実習について受け入れを見送ることになった。

施設サービスの質の向上に向けての取り組み

満足度調査により施設サービスに対する客観的な評価を受け、今後の施設運営にあたって参考となる意見等を得ることができた。

人材確保・育成・定着に向けての取り組み

「きょうと福祉人材育成認証制度」の基準・要件を包括しつつ、以下内容を実施した。

1 採用

(1)計15名を採用（正職員5名、契約職員1名、パート職員0名、派遣職員9名） (2)契約職員1名、パート職員1名、計2名を正職員へ雇用転換

2 育成の実施

(1)施設内研修

・新入職員研修 2回 ・施設内研修 12回 ・人権擁護身体拘束適正化のための研修 2回
・感染症及び食中毒の予防のための研修 2回 ・事故発生防止のための研修 2回

(2)外部研修

・感染症関連 2回 ・虐待防止関連 1回 ・口腔ケア関連 1回 ・ユニットリーダー研修 2回 ・認知症介護基礎研修 2回

3 職員の定着に資する取組

(1)職員満足度アンケート (2)処遇改善の実施（介護職員処遇改善支援補助金による手当の増額） (3)きょうと福祉人材育成認証制度 認証停止解除

4 課題

入職者15名、退職者25名で退職に対し補充が間に合っていない状況である。労働生産人口が大幅に減少しているうえ介護職への求職者が極めて少ないなか、貴重な入職者をどのように教育・指導し定着に繋げていくか、新入職員の受け入れ体制の改善を具体的に行う必要がある。

収支状況

収入…低水準が続いている稼働率について、令和5年度は目標稼働率を94%としていたが、入居者および職員の新型コロナウイルスの感染が断続的に発生したことなどから、受け入れを計画通り進めることができず89.8%に留まった。一方で、物価・食材高騰に対する補助金、新型コロナウイルス感染症者の施設内療養・感染対応に対する補助金をまとめて受給したことなどにより、前年度との比較では収支差額はやや改善となった。

支出…職員数が減少したことによる人件費の減少とLED照明を導入したこと等による水道光熱費の減少を主な理由として、全体では支出減となつたが、人件費減少の背景には人手不足の問題があること、消耗品価格や取引業者との契約価格は増加傾向にあることを念頭に置く必要がある。

災害・感染症への対応力の強化

備蓄品については一定維持することができた。また、法定により令和5年度末までに策定が必要な業務継続計画（自然災害）を策定した。

令和5年度 社会福祉法人淨山会 決算報告

貸借対照表 法人全体

令和6年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	142,766,522	流動負債	47,797,745
固定資産	463,397,994	固定負債	120,137,971
(基本財産)	417,135,366	負債の部合計	167,935,716
(その他の固定資産)	46,262,628		
		純資産の部	
		基本金	128,038,000
		国庫補助金等特別積立金	147,063,731
		その他の積立金	0
		次期繰越活動収支差額	163,127,069
		(うち当期活動収支差額)	28,311,748
		純資産の部合計	438,228,800
資産の部合計	606,164,516	負債及び純資産の部合計	606,164,516

事業活動計算書 法人全体

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	235,943,191	介護保険事業収益	363,167,440
事業費支出	50,733,114	経常経費寄附金収益	679,000
事務費支出	32,283,025		
利用者負担軽減額	0		
減価償却費	22,397,050		
国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,678,548		
徴収不能引当金繰入	574,000		
サービス活動費用計	335,251,832	サービス活動収益計	363,846,440
支払利息	912,287	受取利息配当金収入	4,682
その他のサービス活動外費用	187,008	その他のサービス活動外収益	270,753
サービス活動外費用計	1,099,295	サービス活動外収益計	275,435
国庫補助金等特別積立金積立額	0	施設整備等補助金収益	0
次期繰越活動増減差額	163,127,069	その他の特別収益	541,000
		(当期活動増減差額)	28,311,748
		前期繰越活動増減差額	134,815,321
費用の部合計	499,478,196	収益の部合計	499,478,196

新入居者紹介

よろしくお願ひいたします。



四階つばきユニットに入所された織戸芳枝様は、塗り絵が得意で、新聞の切り抜きもされます。身だしなみもきつちりされ、毎朝の化粧水は欠かすこと�이ありません。



三階はぎユニットに入所された永峰百合子様は、話しかけるとっこり微笑まれます。まだ少し緊張されている様子なので、これからフロアの皆さんと楽しくゆっくりと過ごしていただきましょう。



一階うめユニットに入所された森本満智子様は、いつも穏やかな笑顔で「ありがとうございます」と職員に声をかけてくださいます。怒った顔をお見かけしたこと�이ありません。



4階フロア職員紹介

青木 美奈子



自家製梅シロップを飲んで乗り切ろうと思います！！

藤 まゆみ



毎日野菜と肉と炭水化物をしっかり食べて、お休みの日はしっかり遊ぶことです。

吉田 敦子



暑くてもお風呂はシャワーにせず湯船につかります

田中 梨乃

ユニットリーダー(つばき)



とにかく沢山食べて飲んで寝る事！その中でも睡眠など身体を休ませる事を大事！

今年も暑い夏がやってきました！皆さんの夏バテ対策を聞かせてください！

上田 浩己



美味しいものでスタミナチャージ、楽しい事でパワーチャージ！！

太田 健太朗



どんなに遠い距離でも移動は自転車で！

加藤 由紀



昨年はそば、今年はうどんと睡眠です。

平野 ユニットリーダー(きく)



栄養、良眠、癒しと、夏より熱い情熱！

※写真撮影時のみゴーグルとマスクを外しています

夏季の差し入れについて

梅雨も明け、夏本番となりました。夏季（六月～八月）につきましては、生ものの差し入れは極力差し控えていただきますようお願いいたします。

封書でもご案内いたしましたが、差し入れの禁止食材として、刺し身、生魚の寿司、生野菜、生菓子、家庭調理されたもの等、とさせていただいております。他親族様・知人様方にも当苑にお越しの際のご協力をいただけるようお伝え願います。

例年同様、食中毒対策に万全を期して参ります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ご支援ありがとうございます

令和五年度 敬称略 順不同

ご寄付ご寄贈

八木彩世・別所敬之・續木泰子・森良次・松本憲一
十河ユミ

株式会社朱常分店・京都水産協会・京都青果協会

令和五年度 敬称略 順不同

入れてやつて欲しい」「習字のレクリエーションがある時はぜひ誘つてやつて欲しい」「食事で遊びした

時すぐに下膳せず少し様子を見てやつて欲しい」「家族が持ち込んだものを適宜提供して欲しい」「血圧が高い時があるので減塩食を提供して欲しい」

工藤了子・琴伝流大正琴花水木・モンキー・ポッド・
フラワーシスターーズ・藤鳴会・長谷陽子・岩崎あず
き・新田稔・かりん・柴田香代子・原悦子・田花洋
子・青木俊子・橋本幸一・森川貞子・梅木富久子・
續木泰子・福原則子

要望受付

令和六年一月から六月にいただきましたご家族よりのご要望・ご意見は左記のとおりです。

私たちとは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個別性を大切にします。

「共生(ともいき)」思想に基づく、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

編集後記

梅雨明けに一息つく間も無く、今年も酷暑となる様子です。職員紹介の中で夏バテ対策を掲載していますが、皆さんはこの夏をどのように過ごされますでしょうか。

夏バテしないポイントは、睡眠、運動、栄養と言われています。ビタミンB1、クエン酸、ミネラルを食事に取り入れること、豚肉、うなぎ、フルーツ、梅干しや枝豆などがお勧めです。特にうなぎは最良の食材です。先日の土用の丑の日はうなぎを提供し、入居者さんの「美味しい!」という笑顔をたくさん見ることができました。そんな笑顔が私の活力となります。夏バテ知らずで乗りきれそうです。

つきかげ苑理念

私たちとは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個別性を大切にします。

